

第121期 株主通信

平成29年4月1日～平成30年3月31日



結

新東工業株式会社

株主の皆様へ



取締役社長

永井 淳

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第121期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)のご報告を申し上げます。

当期の経済状況は、海外では、北米景気が設備投資や個人消費の堅調で着実な足取りを見せ、中国経済も輸出の増勢やインフラ投資が下支えとなり、安定した成長を遂げました。また、欧州も生産の持ち直しが設備投資に波及するなど、景気は拡大基調を辿りました。国内では、一部部品の供給が逼迫し、また人手不足が深刻化するなど、供給面での制約はあるものの、世界経済の回復にも支えられ、息の長い景気拡大が続きました。

当社グループの事業環境は、国内において、景気は業界・企業ごとにまだら模様であるものの、お客様の戦略的な設備投資の拡大基調に支えられたため、順調でありました。海外でも、米国において自動車業界の設備投資が活発化、中国でもインフラ投資が底入れを見せるなど、総じて堅調でありました。

このような情勢下、当期の受注高は108,186百万円(前期比8.1%増)、売上高は104,231百万円(同9.7%増)、受注残高は38,601百万円(同13.2%増)となりました。

収益面につきましては、原価率の上昇により営業利益は4,798百万円(同1.8%減)となりました。経常利益は、持分法による投資利益の増加などで、5,994百万円(同2.6%増)を計上し、固定資産税売却益などにより、親会社株主に帰属する当期純利益は6,030百万円(同79.5%増)となりました。

利益配当金につきましては、期末配当金を1株当たり11円とし、すでにお支払い済みの中間配当金1株当たり10円と合わせて、年間配当金を前期より3円増配の1株当たり21円とさせていただきました。

今後の経済見通しにつきましては概ね順調と見込まれます。海外では、米国において減税やインフラ投資促進の影響で成長の加速が期待されます。中国も国内の官民需要に支えられ高めの成長が見込まれ、欧州でも個人消費

の回復と輸出の増加が成長ベースを押し上げるとみられています。国内においても、東京オリンピックを控えたインフラ建設の盛り上がりや輸出の増加を起点に生産活動が回復傾向で推移するとみられ、景気が堅調に続く予想されます。

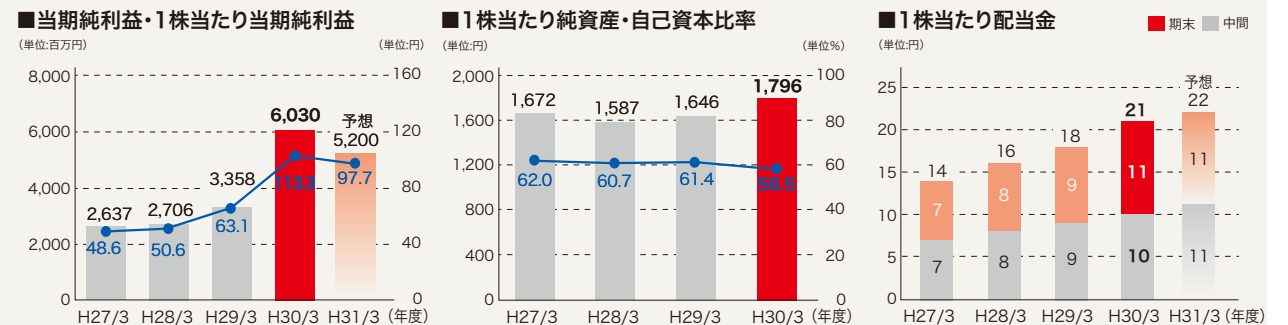
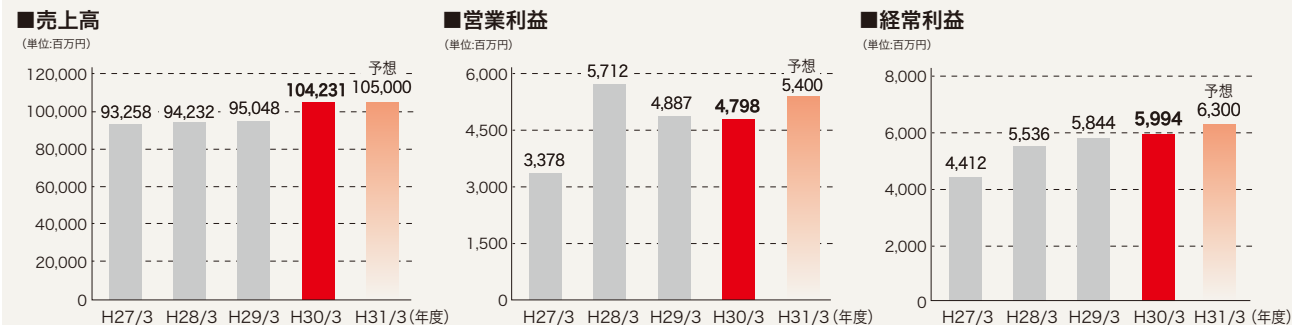
当社グループの事業環境は、海外では北米・中国において企業の投資マインド改善などを背景に、設備投資の回復傾向が続くものと思われます。国内でも、景況感は引き続き底堅く、企業業績の改善傾向も続いていることから、設備投資が大・中堅規模の製造業を中心に増勢を辿ると予想されます。

ただし、地政学リスクの高まりや保護貿易的な政策の広がりに伴う先行き不透明感、円高の進行、人件費の上昇に伴うコストの増加懸念などが企業マインドに及ぼす影響には留意が必要です。

これからも皆様のご期待に沿うべく全力を傾けてまいりますので、このうえとも倍旧のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月

連結業績の推移



これまでの歩み、その先の未来へ

原点である鑄造事業で培ったノウハウを活かすことで事業の多角化を図り、
鑄造機械メーカーから素形材分野における総合プラントメーカーへと成長してきました。
今後もさらなる技術発展とともに、成長分野へチャレンジしていきます。

鑄物の後処理
(砂落し)から派生

**表面
処理**



ピーニング装置 研磨装置 微細加工装置

ショットプラスト国産1号機
(1950年)

鑄造プラントをトータルで
エンジニアリングが可能

鑄造

日本の機械工業の発展を大いに
支えたとして、歴史的意義が
認められ機械遺産に認定



C-11型生型造型機
(1927年 国産初)

個々の設備から
総合的な生産設備へ発展



鑄造プラント第1号

革新的な
鑄造技術の開発



Vプロセス

“SEIATSU”ブランドを
世界に浸透



静圧造型法

省エネかつ高品質な
鑄型の造型を実現



エアレーション砂充填

集塵機(1950年)

鑄造工場の
公害防止から派生

環境



集塵機 排ガス浄化装置

セラミックス分野



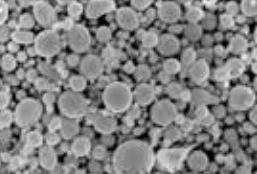
セラミックス3Dプリンタ

搬送分野



コンベア

粉分野



金属磁性粉末

有機EL分野



有機EL
基板測定装置

EV分野



検査装置

無菌分野



無菌+封じ込め
アイソレーター

**新技術への
チャレンジ**

ITを活用した
鑄造工場への推進

株主の皆様へ
事業の歩み
中期経営計画
グローバル展開
トピックス
事業別業績
財務ハイライト
アンケート結果
株主優待
会社の概要
株式の状況
株主メモ

■ 中期経営計画について

中期経営計画“CONNECTING TO THE FUTURE”(2018.4～2021.3)では、一人ひとりが積極的に考働し、世界のお客さまと感動の共創を目指します。

当社グループは、HEART(信頼される技術を通して人間としての豊かさと成果を)を経営理念として掲げ、グローバルに関係する全ての人との絆を深め、一緒になって新しい提案、新しい解決策を提供し続けます。

The poster for Sinto's medium-term business plan features a central green leaf-like shape. At the top, a banner reads "Mission Statement" with the text "モノづくりの新たな価値を創造し、世界のお客さまと感動の共創を実現します". Below this, the Sinto logo and slogan "New Harmony >> New Solutions" are displayed. The central area is divided into two columns: "技術の差別化" (Technology Differentiation) and "信頼のサポート" (Trust Support). The left column includes a quote from a customer: "「新東はいつも新しい提案をしてくれる」と思っていたために、常に新しい商品・技術・サービスを生み出していきます。" and a list of four pillars: "安全方針", "環境方針", "品質方針", and "企業倫理行動指針". The right column includes a quote from a Sinto employee: "「新東の設備を買ったらずっと安心できる」と思っていたために、お客さまの良き相談相手となり、お客さまにとって近くにいる存在となります。" and a definition of "新東" (Shindō) as a company that combines the best of both worlds. At the bottom, the HEART logo is prominently displayed with the tagline "Human Enrichment & Achievement through Reliable Technology". Below the logo, a flowchart shows the cycle: "私たちが世界に通用する技術・知識を身につける" → "お客さまに新東の商品を使って競争に勝ってもらう" → "お客さまから新東で良かったと評価していただく" → "お客さまと新東の間に信頼関係が生まれる".

“Sinto Beliefs”を、日本をはじめ世界中の社員へ浸透させることを目的にカンパニーソング“Let's Go Team Sinto”を制作いたしました。下記のQRコードから動画をご覧ください。

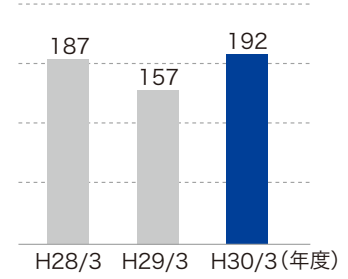


The diagram illustrates Sinto's business direction and foundation. On the left, a red vertical bar contains the text "事業の方向性" (Business Direction) and "事業基盤" (Business Foundation). The main content is organized into three horizontal sections, each with a blue arrow pointing right. The top section, "新技術へのチャレンジ" (Challenge to New Technology), lists six fields: "搬送分野", "EV分野", "粉分野", "無菌分野", "有機EL分野", and "セラミックス分野", leading to "新規事業" (New Business). The middle section, "新しい事業価値の提案" (Proposal of New Business Value), features three Sinto product logos: "sinto SURFACE TECMART™", "sinto FOUNDRY INTEGRATION™", and "sinto WELLNESS CREATION™", leading to "新しい価値提案" (New Value Proposal). The bottom section, "お客さまに選ばれ続ける" (Continuing to be chosen by customers), lists three key points: "お客さまのために提案ができる", "すぐに対応する", and "よき相談相手になる", leading to "1社1社のお客さまを大事に" (Treating each customer company as precious). At the bottom, "希望あふれる職場の実現" (Achieving a workplace full of hope) lists three pillars: "安全", "ESG", and "働き方改革", leading to "個人の達成感" (Sense of achievement for individuals).

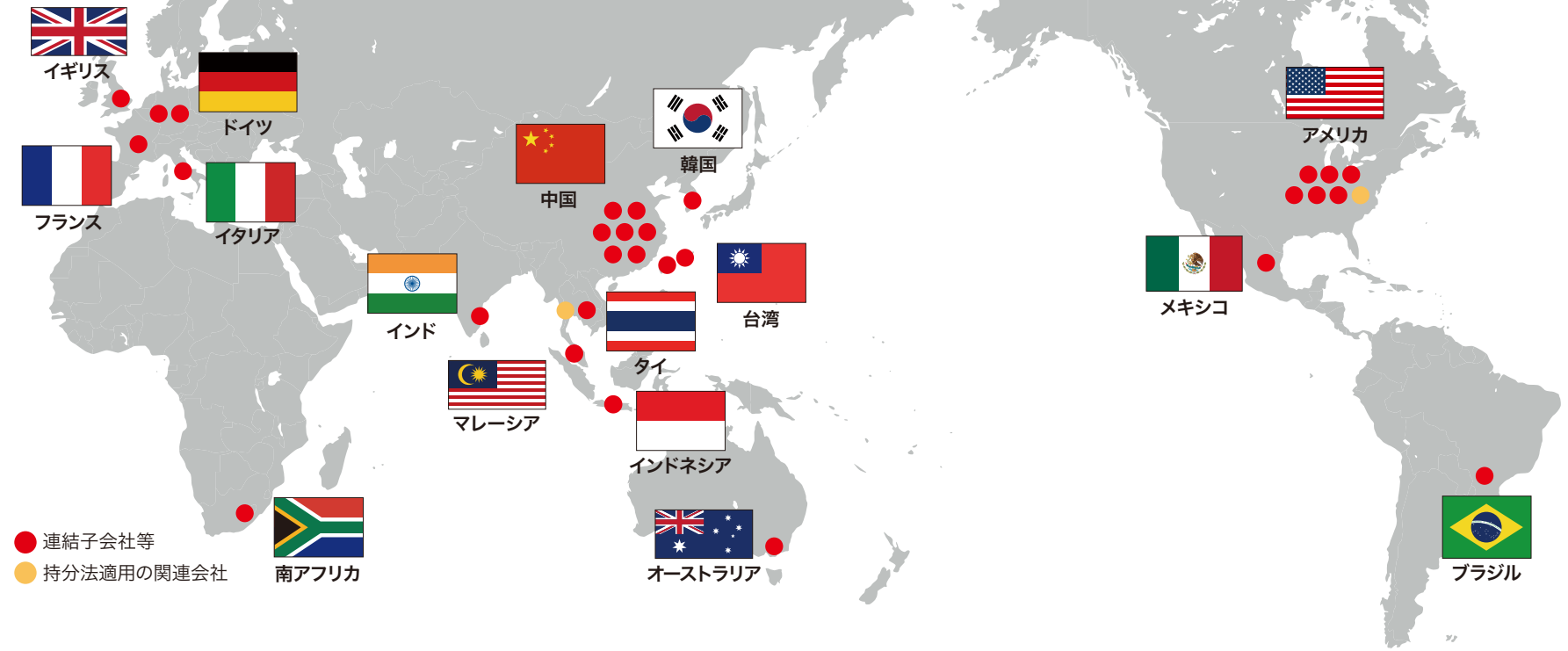
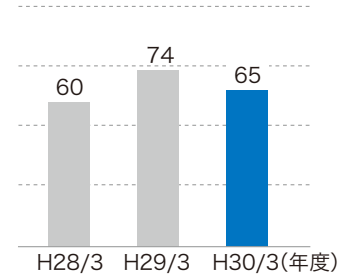
グローバル展開

■ 海外の主な製造・販売サービス拠点
— 16ヶ国31拠点 —

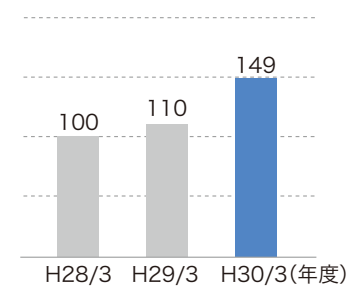
アジア市場



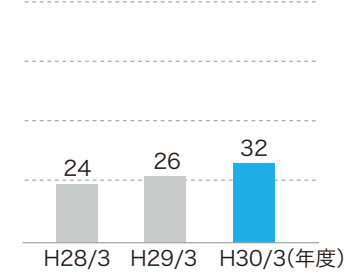
欧州市場



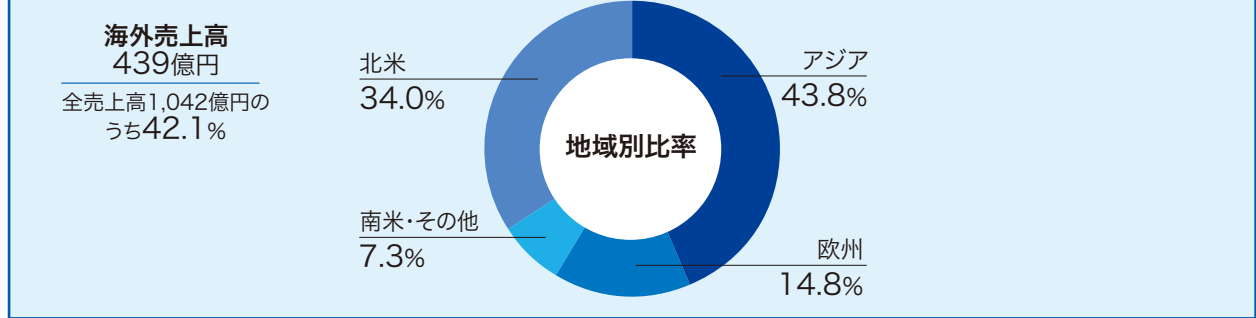
北米市場



南米・その他市場



■ 海外売上高の概況



新たな新東ブランドの構築「One Global Sinto」

「世界中のお客様から選ばれ続ける新東ブランド」

“技術の差別化” + “信頼のサポート”



シンボルマーク  は「東」から昇る燃える太陽の炎で新東の行動力を表すとともに、「新」は挑戦、マークの10本の  は、お客様と握手して一体となり、ともに発展していく姿を示しています。

トピックス

2017

4月 April

トヨタ産業技術記念館
特別展にて
久保田長太郎氏が紹介

豊田佐吉氏の生誕150周年を記念して、トヨタ産業技術記念館特別展「研究と創造の生涯～佐吉の志と、それを支えた人々～」が催され、当社の前身である久保田鋳造所を創立した久保田長太郎氏が取り上げられました。長太郎氏は佐吉氏の設立した豊田式織機に鋳物技術者として入社後、鋳物工場の機械化を説く佐吉氏の薫陶を受け、最新の機械を導入し、高品質な鋳物を製作したことで多大な信頼を得ました。佐吉氏の究極の発明日標であったG型自動織機の製作を技術面から支え、製品化に貢献したとして大きく紹介されました。

これは当社の原点でもあります。先人が築いた歴史・伝統を大切に、今後も進化し続けてまいります。



5月 May

インドネシアの
ポルマン・バンドンより
研修生受け入れ

インドネシアにおける鋳造業界全体の近代化と将来を担う人材育成を目的に、西ジャワ州・バンドンにある高等職業訓練学校・POLITEKNIK MANUFAKTUR ENGERI BANDUNG(ポルマン・バンドン)と同校の講師を対象とした研修生受け入れを新たに始めました。第1期生となる2名の講師が来日し、当社の各事業所および大同大学で日本の最新の鋳造関連技術について2週間の研修を行いました。同校はインドネシアの鋳造工場に多くの幹部を輩出しており、今回の研修生の受け入れをきっかけに、今後さらに当社の「より良い鋳物づくり」に対する取り組みを同国の鋳造業界全体に広げてまいります。



7月 July

「エコシップ・モーダル
シフト優良事業者」表彰

投射材の生産拠点である大崎事業所が「平成28年度エコシップ・モーダルシフト優良事業者」として、国土交通省海事局長より表彰を受けました。海上輸送へのモーダルシフトにより環境負荷低減に貢献した優良事業者に対して毎年表彰を行っています。今回、大崎事業所から九州地区に向けたスチールショットの長距離トラック輸送のうち、大阪南港から新門司港の区間を海上フェリーに切り替えることで、CO2排出量を56%削減したことが評価されました。輸送ルートの見直しを図ることでさらなる物流の効率化を推進してまいります。



8月 August

C-11型生型造型機が
機械遺産に認定

当社が保有する“C-11型生型造型機”が、日本機械学会から「機械遺産」に認定されました。本造型機は、1927年に、当社の前身久保田鋳造所が製作した国内第一号の砂型造型機であり、鋳物工場の機械化は本機から始まりました。手作業による砂型製作は生産性や品質の低下などを生む原因となっていました。本機の出現により飛躍的に生産能力が向上し、鋳造部品の大量生産が可能となりました。日本の繊維機械や自動車など、大量の鋳造部品を必要とする機械工業の発展を大いに支えたとして、歴史的意義が認められたものです。今後も「ものづくりを支える、ものづくりを。」の精神で、世界のあらゆる産業の「ものづくりの礎」を支えてまいります。



10月 October

3DCeram社への
資本参加

セラミック事業拡大の一環として、フランスにあるセラミックス3Dプリンターのメーカー3DCeram社に資本参加いたしました。セラミックス3Dプリンターには、①形状の自由度が高い、②短納期の対応が可能、など従来の成形法にはない優位性があります。こうしたメリットが活きる市場としては、医療分野、航空宇宙分野、エネルギー分野が挙げられ、将来的には二次電池分野や新規市場での需要が飛躍的に拡大していくと予想されます。今回の資本参加を通じ、当社の持つセラミックス成形技術や国内外の顧客・拠点ネットワークと3DCeram社の装置・ペースト製造に関するノウハウや最新の知見を融合させることで、3Dセラミックス事業で世界のトップランナーを目指してまいります。



セラミックス3Dプリンター「CERAMAKER900」

2018

2月 February

(株)エアレックス
北米向け無菌試験用
アイソレーター初納入

グループ会社の(株)エアレックスが、北米向け初となるカナダGCBT (Green Cross Biotherapeutics)様へ医薬品品質管理用の無菌試験用アイソレーターを納入し海外展開への新たな一歩を踏み出しました。

本装置のSUS筐体は大治事業所で製作し、エアレックスで組立・試運転を行い、日本国内でカナダの電気安全規格(CSA)の検査に合格し出荷したもので、現地ケベックAHJ(規定執行官)による適合評価も得ることができました。今後も新東工業グループとして、世界の医薬・医療分野の一翼を担うべく海外展開を進めてまいります。



3月 March

2年連続
「健康経営優良法人
(ホワイト500)」認定

「健康経営優良法人2018発表会」が開催され、昨年に続き、2年連続で「健康経営優良法人2018(ホワイト500)」の認定を受けました。健康経営に取り組む優良な法人の見える化によって、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的な評価を受けることができます。また、認定法人にはロゴマークの使用が認められ、ホームページやCSR報告書への掲載、採用活動などで活用していきます。

これからも、継続的に認定されるよう、時間外労働の削減をはじめ、社員の健康増進に向けた施策を、引き続き展開していき、全社員が協力して健康で明るい職場づくりを目指してまいります。



事業別業績

■ **事業内容** 当社グループは、当社および子会社56社、関連会社6社で構成され、鑄造装置、表面処理装置、投射材・研磨材、環境、搬送およびメカトロ関連等特機の設備装置の製造・販売を主な内容として、グローバルに事業活動を展開しています。

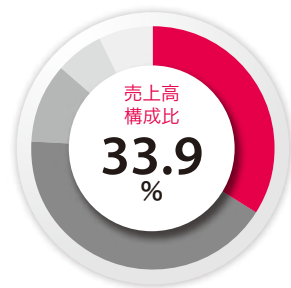
鑄造事業



鑄造事業は、豊田式織機の鑄物づくりを一手に引き受け、その機械化を促したことに始まります。以来、当社グループは鑄造機械の高度化を進め、自動車メーカーとともに成長してまいりました。現在は世界トップの鑄造プラントメーカーとして、より良い鑄物づくりの探求を通じ、社会に貢献しています。当社グループの強みは豊富なノウハウ、幅広い商品ラインナップ、充実したメンテナンス力です。これらを駆使し、お客様のより良い鑄物づくりに最適な設備・サービスを提案しています。

売上高
357億21百万円
(前期比11.6%増)

営業利益
11億85百万円
(前期比15.9%減)



環境に配慮した中子造型装置



自動注湯機による 省力化



不良低減につなげる 砂性状コントロール



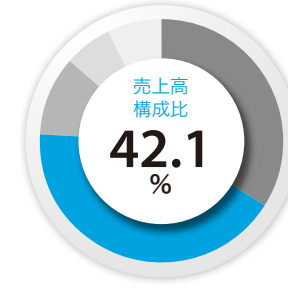
表面処理事業



自動車、電気、電子機器など私たちの周りにある工業製品や日用品のほとんどに表面処理が施されています。表面処理には、製品のバリ取り、錆び落としなどのほか、モノの表面に光沢を与えたり、精密な加工をほどこしたり、滑りにくくするなどのさまざまな加工があり、素材も金属、プラスチック、木材、石材、ゴムと幅広い分野に広がっています。当社グループは長年の経験とノウハウをもとに、さまざまな条件に適した「技術・装置」、消耗品である「投射材・研磨材」と安定操業のための「サポート・部品」をトータルに供給できる業界唯一の表面処理装置メーカーとしてグローバルでお客様にソリューションをお届けしています。

売上高
442億84百万円
(前期比7.5%増)

営業利益
35億48百万円
(前期比13.1%減)



Sightia組込ショットピーニング マシンISPX-S 型



自動車部品をはじめとする、
高強度が求められるものづくりで、
各種表面のインライン測定・検査が可能



機械装置については、台数ベースで前期並みを維持し、順調でありました。また、部品・消耗品や機械の改造が昨年度までの機械装置の販売増や国内外ユーザーの設備稼働率が高水準となったことを背景に増勢が続いた結果、売上高は442億84百万円(前期比7.5%増)となりました。
営業利益は、原材料価格の上昇が大きく響いたことにより、35億48百万円(同13.1%減)となりました。

事業別業績

環境事業



売上高
110億82百万円
(前期比4.4%増)

営業利益
12億19百万円
(前期比93.0%増)

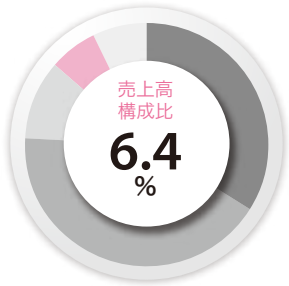
集塵機が安全対策や環境意識の高まりとともに幅広い業界でニーズがあったほか、高水準の設備稼働率を背景に部品・メンテナンスの売上高も伸長し堅調に推移した結果、売上高は110億82百万円(前期比4.4%増)となりました。

営業利益は、機械原価率の改善と部品・メンテナンスの伸びに支えられたことにより、12億19百万円(同93.0%増)となりました。

作業者を粉塵から守る汎用集塵機



搬送事業



売上高
67億25百万円
(前期比8.2%増)

営業利益
2億48百万円
(前期比35.7%減)

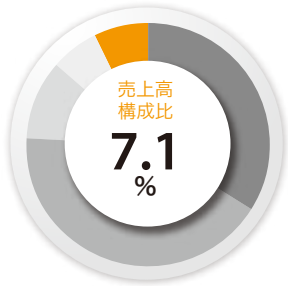
工作機械、ロボットメーカーや物流・流通業界向けのリフトを中心に底堅い推移となり、売上高は67億25百万円(前期比8.2%増)となりました。

営業利益は、北米における装置の採算悪化の影響もあり、2億48百万円(同35.7%減)となりました。

物流倉庫の合理化を図るコンベア



特機事業



売上高
74億92百万円
(前期比24.1%増)

営業利益
2億75百万円
(前期比152.2%増)

自動車業界におけるEV、HV化の進展を受け、電動シリンダおよびプレス装置が堅調な伸びとなったほか、二次電池装置やインバータ関連検査装置の売上高が過去最高となり、売上高は74億92百万円(前期比24.1%増)となりました。

営業利益は、売上高の増加に伴い、2億75百万円(同152.2%増)となりました。

自動車のEV・HV化を支える
電動シリンダおよびプレス装置



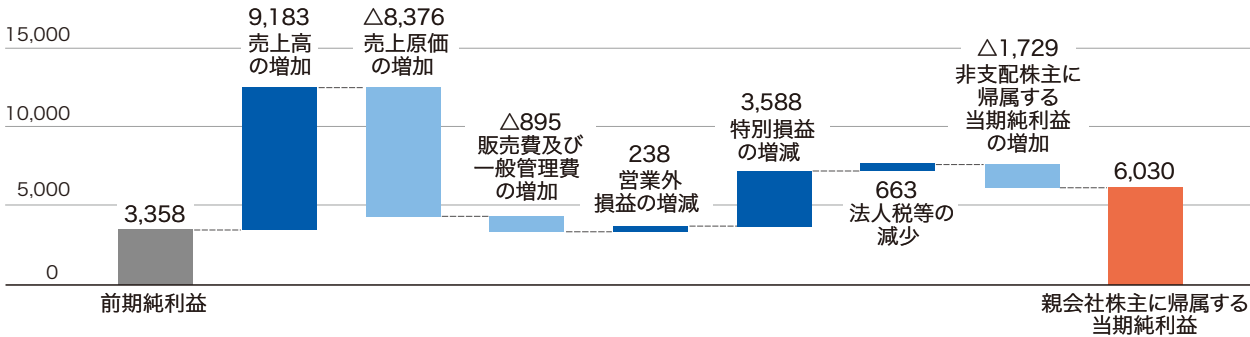
財務ハイライト

	当 期	前 期	増 減
売 上 高	104,231 百万円	95,048百万円	9.7%増
営 業 利 益	4,798 百万円	4,887百万円	1.8%減
経 常 利 益	5,994 百万円	5,844百万円	2.6%増
純 利 益	6,030 百万円	3,358百万円	79.5%増
1 株 当 たり 配 当 金	21 円	18円	3円増配

連結損益計算書の概要

単位:百万円(未満切捨)

平成29年4月1日～平成30年3月31日



連結貸借対照表

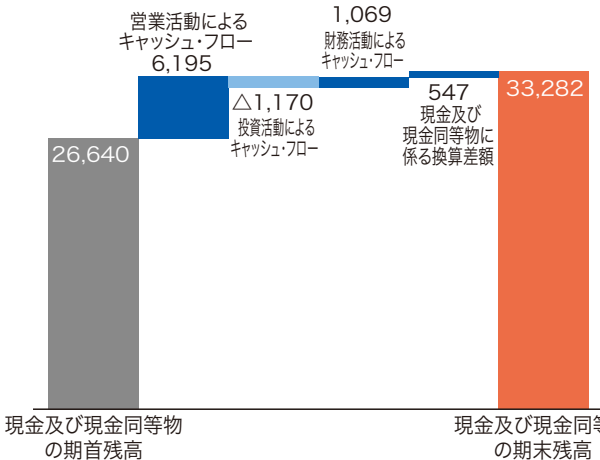
単位:百万円(未満切捨)

資産合計		負債・純資産合計	
前期 (平成29年3月31日現在)	当期 (平成30年3月31日現在)	前期 (平成29年3月31日現在)	当期 (平成30年3月31日現在)
142,759 流動資産 80,859	163,457 流動資産 96,455	142,759 負債 50,983	163,457 負債 62,361
61,899 固定資産	67,001 固定資産	91,775 純資産	101,095 純資産

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円(未満切捨)

平成29年4月1日～平成30年3月31日

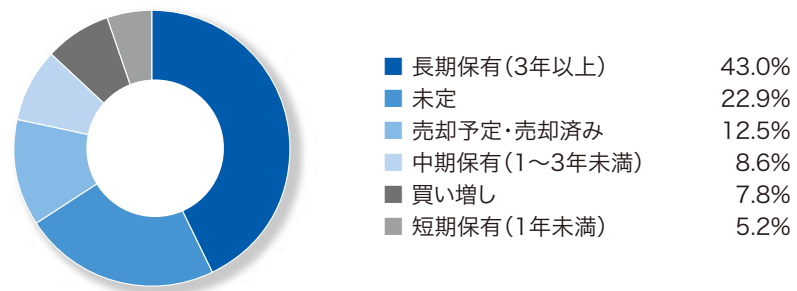


株主様アンケート結果

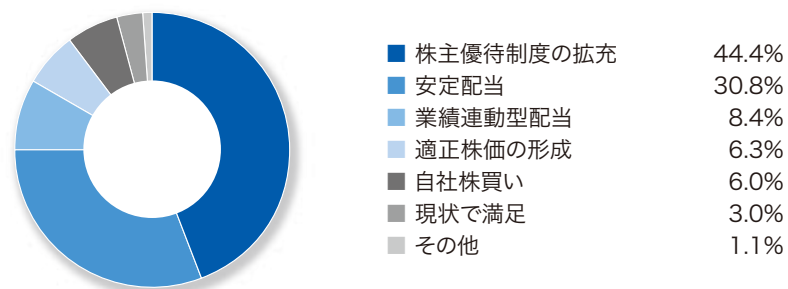
昨年12月、株主の皆様との相互コミュニケーションを図るべく、アンケートを実施しました。3,224名の方々からご回答いただき厚く御礼申し上げます。

主な質問項目に対する回答結果をご報告するとともに、貴重なご意見を今後のIR活動に活かしてまいります。

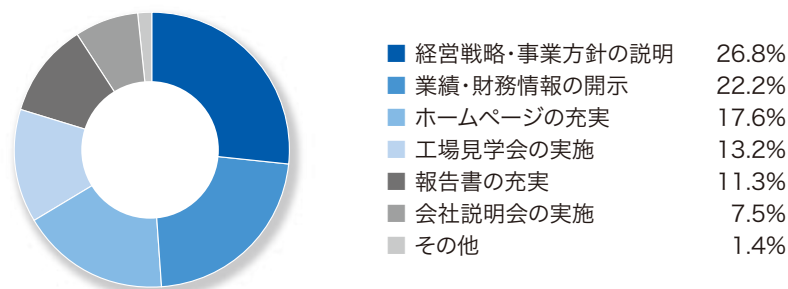
Q1 当社株式の保有方針



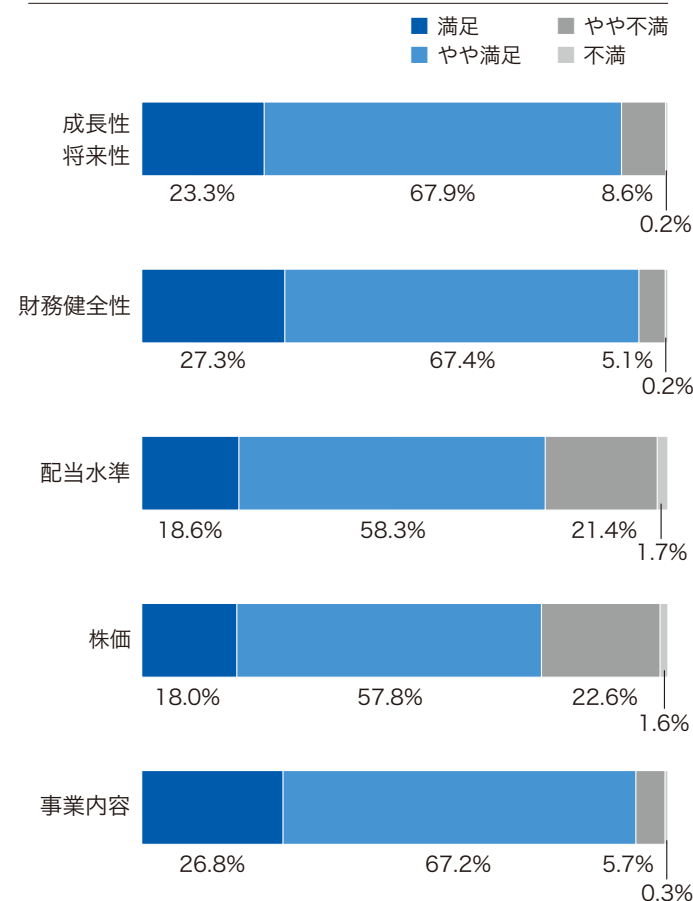
Q2 長期保有のため、最も重視する施策



Q4 今後希望するIR活動



Q3 当社への評価



株主優待制度

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、多くの皆様に当社を知っていただき、事業への理解を深めていただくこと、当社株式に投資していただく魅力を高め、中長期にわたり株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的とし、株主優待制度を導入いたしました。

●対象となる株主

毎年9月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式1単位(100株)以上を保有されている株主様が対象です。

●株主優待の内容

下記の通り、保有期間、保有株式数の区分に応じ、クオカードを贈呈いたします。

保有株式数	保有期間3年未満	保有期間3年以上
100株～999株	クオカード 1,000円分	クオカード 2,000円分
1,000株以上	クオカード 2,000円分	クオカード 3,000円分

※保有期間は毎年9月末日時点の株主名簿に同一株主番号で連続して記載または記録された回数をもとに算出いたします。

●贈呈時期

毎年12月の発送を予定しております。

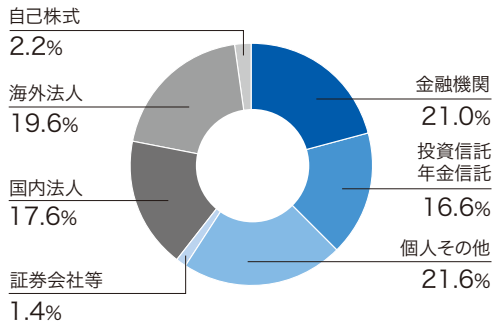
会社の概要

- 商号 新東工業株式会社 (英文名: SINTOKOGIO, LTD.)
- 本店所在地 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号 大名古屋ビル24階
- 設立年月日 昭和9年10月2日
- 資本金 57億5,222万4,825円
- 従業員 1,649人 (連結4,010人) (平成30年3月31日現在)
- 役員 (平成30年6月22日現在)

取締役会長 (社外)	上田良樹	取締役	後藤剛
代表取締役社長	永井淳	取締役 (社外)	小澤正俊
常務取締役	久野恒靖	取締役 (社外)	山内康仁
常務取締役	日比正明	監査役 (常勤)	夏目俊信
取締役	谷口八束	監査役 (常勤)	川上和明
取締役	森下利和	監査役 (社外)	唐木康正
取締役	橋詰政治	監査役 (社外)	小島俊郎

株式の状況 (平成30年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 230,476,000株
- 発行済株式総数 54,580,928株
- 株主総数 7,684名
- 株主の所有者別状況



大株主の状況 (上位10名)

大株主名	持株数 (千株)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,762
株式会社 三菱UFJ銀行	2,289
明治安田生命保険相互会社	2,276
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,104
株式会社 りそな銀行	1,668
公益財団法人 永井科学技術財団	1,405
株式会社 みずほ銀行	1,001
新陸会持株会	943
新東社員持株会	915
東京海上日動火災保険株式会社	909

※当社は自己株式1,174千株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金：3月31日 中間配当金：9月30日
単元株式数	100株
証券コード	6339
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所
公告の方法	電子公告 (http://www.sinto.co.jp/ir/koukoku/index.html) (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

- 未払配当金の支払いに関するお申出先
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座が無いため特別口座を開設された株主様は、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお申出ください。

ブランドスローガン

New Harmony >> New Solutions™

「New Harmony >> New Solutions™」は、新東工業グループの意志であるブランドコンセプトの「技術の差別化」・「信頼のサポート」をグローバルに宣言するブランドスローガンです。

新東工業グループはステークホルダーとの絆を深め、より強い信頼関係を築くことを目指しています。
そのために「技術力」と「お客様をサポートする力」を結び、絶えず進化させ、
常に新しいソリューションとベネフィットを提供し続けます。
そして幅広い技術の融合により、新しいソリューションと価値を創造します。

こうした企業活動により社会および環境との調和に貢献していきます。



新東工業株式会社

〒450-6424 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号

Tel 052 582 9211 Fax 052 586 2279

www.sinto.co.jp

